



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

収穫したもち米は、地域住民も参加する餅つき大会で使い、販売もします。2年続けて中止だったので、今年は何とかやりたいですね。



学校の田植えに参加した地域の方に聞きました。このように、恒例の行事を楽しみにしている人が他にもたくさんおられることでしょう。

さまざまな活動が戻りつつある現状にほっとすると同時に、感染対策を徹底して、なんとか実施したいという地域の皆さんと学校の熱い思いを、取材の度に感じています。



さつまいもの苗植え

紙屋小 1・2年生



マルチを張り、穴をあける作業を2年生が体験。少しでも楽になるようにと考えられた道具の使い方を学びました。

最初の会も2年生が担当。JA職員による「さつまいもの話」の後、1年生(8名)と2年生(13名)が、たくさんの大人に手伝ってもらいながら植え付けました。

栗須小 2年生



2年生24名の活動です。みかんやスマイル会議など、5つの団体から30名ほどが参加し、活動前に各団体の紹介がありました。作業は、栗須保育園の園児も加わり30分ほどで終了。終わりの会の質問では、植付に使った竹の棒の作り方を尋ねる児童もいました。

幸ヶ丘小 1~4年生



6名の児童と先生方が校内の「こども農園」で作業をしました。児童が進行した始めの会では、校長先生からさつまいもの種類や植え方のお話があり、その後、上級生が下級生にやり方を教えながら、2つのうねに協力して植え付けました。



学校でのさつまいもの苗植えは、ほとんどが斜めに植えます。理由は根付きやすく数が採れるから。まっすぐに植えると、大きくて形のいいものが収穫できるそうです。調べてみると、「水平植え」や「船底植え」もありました。

野尻小 プール掃除

5・6年生



地元の消防団員十数名が協力。高圧洗浄機と消防車のホースで泥や落ち葉を洗い流し、5・6年生はデッキブラシとたわしで床や側壁をごしごしと磨きました。

きれいになったプールでは、この時期、子どもたちの大きな歓声が響いていることでしょう。

南小 清掃工場見学

4年生



小林、えびの、高原の廃プラを処理して大分の工場に運びます

案内は谷村さん・日高さん NPO 法人「赤とんぼ」



「プラ」以外を手作業で取り除きます



圧縮してラッピング

家庭から出たごみの処理とリサイクルについての学習です。作業の様子を見学した後、事前に届けた質問に丁寧に答えていただきました。

4年生は、ごみの出し方、リサイクルのしくみ、ごみを減らすことの大切さに加え、工場で働く人たちの仕事についても学びました。

読み聞かせ

須木小



「あすなる会」の皆さん6名が、各教室で読んでくださいました。目を輝かせ、熱心に、時には身を乗り出して聞いている姿を見て、心を豊かにし本に親しむ読み聞かせの大切さを改めて感じました。子どもたちは月に2回のこの日を、とても楽しみにしています。

裏に続きます。



三松中



保護者と卒業生の保護者による月に1度の読み聞かせ。この日は6名のメンバーが来てくださいました。2年生が伝承活動をしている岩戸神楽にちなんだ絵本の朗読と笛の演奏もありました。小学生の頃から読み聞かせに親しんでいるからでしょう。生徒たちは熱心に耳を傾けていました。



小林中 1・2年生

語り



「小林子ども遊学会」の皆さんが、月に1度来てくださいます。この日は13名が民話や小説などを、朗読と「語り」で聞かせてくださいました。途中、生徒との会話のやり取りやクイズもあり、終始、和やかな雰囲気での20分でした。

【校長先生のお礼の言葉】
心温まる時間をありがとうございました。中体連を前に、子どもたちもエネルギーをもらったことと思います



「読み聞かせをしてくださる方がいない」「続けていくにはメンバーを増やさないと…」という声を聞きます。ここでは、ボランティア確保のための取組を紹介します。(一部は、昨年9月の「課題と方向性」より)

- ◆ メンバーが知り合いに声をかけ誘っている。(野尻の幼保小中で読み聞かせをしているサークル「たんぽぽ」)
- ◆ 家庭教育学級と連携した「読み手」の養成を考えている。将来は、東方まちづくり協議会にも読み聞かせボランティアの協力を依頼したい。無理なく、長期に渡り携わっていただける工夫をしていきたい。(東方中)
- ◆ ボランティアの方々や須木図書館と連携して読み聞かせを行っている。(須木中)
- ◆ 「ゆめいろ文庫」の皆さんの協力により、月1~2回行っている。メンバーの減少や高齢化で、読み聞かせの存続が課題となっており、昨年6月に、保護者に向けて協力依頼のチラシを配付した。その時は1名の申込があり、一度活動に参加していただいた。(西小林小)
- ◆ 学校長もメンバーに登録し読み聞かせをしている。学校のホームページで活動の様子を発信したり、学校便りで地域に知らせたりすることで、地域の方に興味・関心をもってもらえるようにしている。(東方小)

事務局でも、昨年度、市民向けの KSSVC だよりで募集をしました。今後も呼びかけを続けていきます。ボランティアの固定化と高齢化は、小林市の地域学校協働活動の課題の一つです。



細野小 避難訓練【噴火】

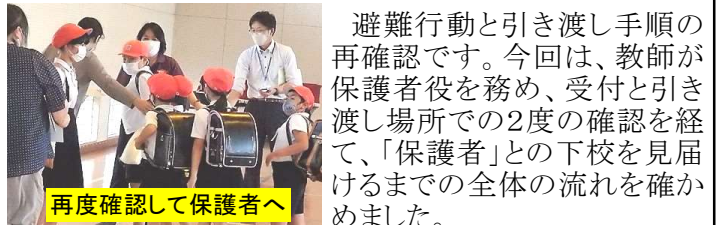


体育館に集合

保護者受付

高学年の児童が弟や妹を迎えに

「引き渡し確認書」で確認

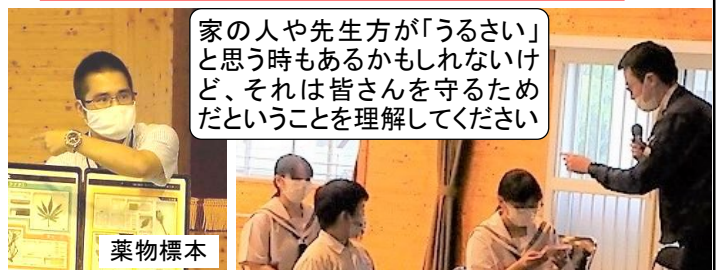


再度確認して保護者へ

避難行動と引き渡し手順の再確認です。今回は、教師が保護者役を務め、受付と引き渡し場所での2度の確認を経て、「保護者」との下校を見届けるまでの全体の流れを確認しました。

訓練後は集団登校の班会。登校の様子と危険箇所の聞き取り、登下校の指導を担当の先生方が行いました。

紙屋中 薬物乱用・ネット犯罪防止教室



家の人や先生方が「うるさい」と思う時もあるかもしれないけど、それは皆さんを守るためだということを理解してください

薬物標本

- | | | |
|-------------|-----------------|------------------|
| 【前半】◆ 薬物の種類 | ◆ 検挙状況 | ◆ 身体への影響 |
| ◆ 社会に与える影響 | 【後半】◆ インターネットとは | ◆ ネットに潜む危険 |
| ◆ 県内の過去の事例 | ◆ 「デジタルタトゥー」など | ◆ 《講師》小林警察署生活安全課 |

薬物については、若年層を中心に大麻乱用が急拡大していること、ネット犯罪では、県内の事例を含め、その危険性についてのお話を聞きました。(1時間の授業)

【お礼の言葉】あらためて薬物やネットの怖さがわかりました。教えていただいたことを参考に、自分自身をしっかり守ります。



永久津小 図書館オリエンテーション 4・5・6年生



- (1) 4年生：背表紙の数字(日本十進分類法)の説明
- (2) 5年生：本の紹介「まじさかさじま」という絵本です。
- (3) 6年生：落書きをされたり、破かれたりした本の話
- (4) 図書館に返ってきた「落書きをされた絵本」

川野さん(市立図書館)

図書館の利用方法とおすすめの本のお話など。5・6年生は著作権についての説明も聞きました。



School Volunteer KSSVCだより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

ずいぶん昔の話です。ある講演会で、東京から来た講師が、よほど喉が渇いていたのでしょ、会場内の洗面所で、水を蛇口からいっきに飲みました。講演が始まり、その第一声が...

「小林の水はおいしい！」。

先日の三松中1年生の農業体験でのこと。受け入れ農家の方が、農家民泊を始めた理由を生徒に聞かれ、「小林や西諸の良さを多くの人に知ってもらいたいのので続けています」と答えていました。

「味覚の授業」など、数多くの食育の授業に携わっている地井シェフ(kokoya de kobayashi)は、地元産の食材を可能な限りお店で使い、機会あるごとに、小林の食の豊かさを子どもたちに伝えています。

取材で、さまざまな人や自然と出会う中、KSSVCの目的の一つは、「小林の魅力の再発見」だと思ふようになりました。これからも、「たより」を通してたくさんさんの魅力が伝えられたらと思っています。

暑中お見舞い申し上げます

今年は尋常ではない暑さ
学校の皆様も ご自愛ください



5月から6月にかけての風景です。
【協力】地域コーディネーター・PTA
役員・営農組合・JAこばやしなど



紙屋小・中



小学5年生と中学生



西小林小



5・6年生



たくさん撮ってね



栗須小

田んぼの役割
西諸農林振興局

全校児童



5年生がまいたモミから
育った苗も植えました。



細野小

5年生



恒例の泥んこタイム



三松小

「おやじの会」
おすすめの音楽
を聴きながら

5年生3クラス
が交替で



用水路できれいに

学校でも、バケツで稲を育て、
観察しています。

各学校で、米の販売や餅つき大会が計画されています。

裏に続きます。

永久津小・中



始めの会



小学5年生と中学生



田んぼの上には夏空が広がっていました。



西小林中 認知症サポーター養成講座



物忘れと認知症は違うとよ!

3年生



話し合いの報告



千の恩をあとと成し

講師は「かずばあちゃん」《小倉和也さん：和(なごみ)福祉サービス代表》。日本の高齢化の現状、認知症とは何か、サポートの仕方などを、西諸弁での生徒とのやりとりを通して楽しく教えてくださいました。

後半は、西部地域包括支援センターとeサポーターの皆さんによるグループワークと紙芝居。身近な人が認知症になった場合の対応の仕方などを考えながら、サポーターとしての意識を高めました。

南小 水辺の学習

5年生



【協力】市生活環境課・小林保健所「クリーン アクア ビバレッジ」など



前半は、「霧島の天然水」を作っている社長さんから水のお話を聞き、川の役割や調査方法について、スライドを見ながら学習。後半は、校区内の辻の堂川で、透明度やにおい、水質、水生生物などを調査。川のきれいさを確認しました。今後は、この日の結果をまとめながら、身近な環境を守るためにできることを考えていきます。

紙屋小 七夕づくり

1年生



「紙屋いきいきサロン」の皆さん

10年以上続いている交流活動。地域の皆さんが、たくさんの飾りを持って来てくださいました。この日を楽しみに1年かけて準備したとのこと。手の込んだ見事な飾りの一つひとつを、子どもたちは丁寧に飾り付けていました。

【2年生の短冊より】 ◆ かぞくがしあわせになれるように。 ◆ 金色のビー玉がとれますように。 ◆ クワガタがとれますように。かぶと虫もとれますように。

野尻中 普通救命講習会

3年生



救急車が来るまで続けます



講師は野尻分遣所の皆さん

【普通救命講習】命を守る知識と技術の習得を目的に、消防本部・消防署が実施する講習。3時間の講義と実技を行い、救命技能認定証を取得します。

【主な内容】 ◆ 応急手当の基礎知識 ◆ 救命措置の手順 ◆ 心肺蘇生とAEDの使い方(実技)

施設の清掃など、恒例のボランティア活動が中止になり、社会に役立つ技能を身に付けようと計画。講義の後、5つのグループに分かれて実技を行いました。

細野小 灯ろうづくり



のりをつけた後素早く貼ります。



1・2年生は5・6年生と一緒に。

細野まちづくり協議会が呼びかけ、細野小・中・保育園・施設から、たくさんの絵が寄せられました。

子どもたちは、給食後に協議会の部屋へ。職場体験の細野中の生徒2名も加わって、100丁の灯ろうに次々と絵を貼っていきました。

以前は、大人だけでやっていた大変でした。小学生がたくさん協力してくれて、本当に助かっています。(協議会事務局の中島さん)



灯ろうは既に神社に設置され、5時から灯りが灯ります。六月燈は7月23日(土)17:00～20:30



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



粟須小 6年生

協力は地元の消防団

「水」と触れ合った2つの活動を紹介します。涼しさを、少しでも感じられますように…。

【プール清掃】 小林市消防団に、毎年、協力をいただいています。消防ホースからの力強い放水で底に溜まった泥を洗い流し、6年生も熱心に活動して、1時間ほどで終わりました。団員の皆さんの勇姿にあこがれ、将来、入団したいという子どもたちが増えることを願っています。



幸ヶ丘小

【プール開き】 市営プールです。1・2年生は顔をつけて「ブクブク」したり潜ったり…。水に慣れる練習をしました。3年生以上は泳力の測定。互いに応援しながら「平泳ぎで25m」などの目標に向けて取り組みました。

《校長先生のお話より》「3つのあ」◆ あんしんしない
◆ あわてない ◆ あなどらない(水をばかにしない)

紙屋中 キャリア教育講演会



和牛を通して世界と相対しています

講師は富永征駿(まさとし)さん。「牛商丑力株式会社」(細野)の後継者です。「生まれ育った小林市で就農、起業した私が、今伝えたいこと」という演題で、お話をしてくださいました。仕事への思いや夢を見つけるためにやってほしいこと、挑戦することの大切さなどのお話に、生徒たちは真剣な表情で聞き入っていました。

【お話より】 ◆ 小・中・高校時代は、将来の夢を書かされるのが嫌で、大人が喜びそうなことを書いていました。
◆ 将来の夢を明確にもち、がんばってそれを実現させていく人もいますが、僕はあまり明確な夢を持っていませんでした。
◆ 僕みたいに、好きじゃないことを始めて、やっていくうちに好きになっていくパターンもあると思います。
◆ 学生の時に、当たり前なこと(学校行事や宿題)を当たり前にするのが、社会人になって役に立ちます。



三松小 まちたんけん

2年生



最初は道路だけの地図

生活科の授業。歩きながら見たことや気づいたことを、地図に書き込みます。3つのコースに分かれ、学級ごとに出発。1時間ほど歩き、地図を絵や文字でいっぱいにして戻ってきました。地域の人や場所に親しむことも目的の一つです。通学路で新しい発見もありました。



西小林小 校区内史跡めぐり

3年生

1 【鬼目薬師堂】 内部には薬師如来像が祀られ、住民が花を供えるなど、地域で大切に守られています。
2 【菅原神社(梅の天神)】 学問の神様、菅原道真公が祀られています。
3 【勧請丘(かんじょうがおか)】 エヒメアヤメの自生地。霧島の山なみがきれいでした。亀ヶ丘神社もあります。他に、「大出水湧水池」「東大出水の田の神」(西小林小の前身)大久保小学校跡を見学しました。

子どもたちは、身近にある「宝物」に感心したり驚いたりしながら、小林の歴史や文化を熱心に学んでいました。(案内はガイドボランティア協会の皆さん)



幸ヶ丘小 清掃工場見学

3・4年生

説明はNPO法人「赤とんぼ」のお二人

ごみの処理とリサイクルについてのお話を聞き、分別の必要性や、ごみを減らすことの大切さを学びました。

【説明より】 ◆ 細かく分けると25種類に分別しています。
◆ 生ごみはたい肥にするので燃やすごみが減り、年間2千万円の節約になります。 ◆ 小林市の廃プラは分別がよくできていて、Aランクの評価をもらっています。
◆ 最終処分場は平成15年に満杯になる予定でしたが、分別が進んだため、今後70~80年は受入れ可能です。

南小「食の世界旅行」

6年生



主催：南校区まちづくり協議会
共催：小林市教育委員会



シェフの料理とお話を通して小林の食の豊かさを感じ、郷土を愛する心を育ててほしいと思います。(吉村さん:協議会会長)

食事中、3人のシェフが、小林の食材と水、仕事や海外旅行のお話をしてくださいました。チキンが入ったサラダはフランス料理、カルボナーラはイタリア料理。地鶏の卵を使ったプリンもいただきました。

おいしい料理を楽しんだ後は質問の時間。子どもたちは次々に手を挙げて料理のことやシェフの仕事について尋ねていました。※ テーマは「食育」と「キャリア教育」、会場はTENAMU 交流スペースです。

料理とお話は… ◇ 地井さん:kokoya de kobayashi
◇ 高岩さん:地鶏の里 ◇ 志戸本さん:CHICCA(キッカ)

東方中 福祉体験学習

1年生



【児童福祉体験】1年生8名が東方保育園を訪問。園庭で一緒に遊んだ後は、3つのクラスに入り、手作りのおもちゃとゲームで楽しく過ごしました。

半日の滞在でしたが、保育士の仕事を知り、幼児との触れ合いから多くのことを学びました。

同じ日の午後は…



落とさないで

【車椅子体験と高齢者疑似体験】講師は社会福祉協議会の皆さん。車椅子体験では、操作に加えて介助の仕方も教えてもらい、数名で階段を運び上げる実技も行いました。車椅子の校長先生と担任の先生は少し緊張していました。

翌日は、2つの施設に…



ふれあいの里

会社の注文を受けた仕事



陽光の里

【施設訪問】ふれあいの里(生活介護事業所)と陽光の里(特別養護老人ホーム)を、2組に分かれて訪問。

《ふれあいの里》小さな部品の「バリ」を取る作業と、ペットボトルの風鈴づくりを、利用者さんの中に2人ずつ入って行いました。

《陽光の里》グループホームなど、施設内を見学した後、デイサービスに来られた方々と七夕の短冊を書いたり、体を動かす歌を歌ったり…。いろいろな話題で会話が弾みました。



永久津小 市役所見学・議会傍聴

6年生

記録 2,067人
(2016.3.19)



管財課の方から、木材を多用した市庁舎の建設と市役所の仕事についての説明を聞いた後、庁舎内を見学しました。

1【市長応接室】「ひとつの椅子に連なって座った最大人数」でギネス世界記録を達成した時の椅子に座ってみました。

2【議会傍聴】議会事務局の説明を聞き、20分ほど傍聴。市の人口減少や児童クラブのことが話し合われていました。3【市役所の中庭】きれいな水が湧き出ている、なんだかホッとする空間でした。

【お礼の言葉】◆ 私たちのために議会で話し合っているということがよくわかりました。◆ 学校でも勉強しましたが、今日の見学で議会のことがよくわかりました。◆ 市役所と、働いている人たちの仕事のことがよくわかりました。

スギヤマカナヨさんと共に



坂下さん



主催：小林市小・中学校「読み聞かせ」連絡協議会(坂下会長) 共催：小林市立図書館

絵本作家のスギヤマカナヨさんを迎えての講演会。絵本作家になるまでのことや今のお仕事のこと、絵本を用いたワークショップについて、本の紹介も交え、お話をしてくださいました。

図書館2階の会場では、約40名の参加者が熱心に耳を傾け、とても短く感じた1時間半でした。

翌日には、ワークショップ「スイカの手紙をつくらう」がありました。「読み聞かせ」連絡協議会では、このような研修会や各サークルの代表者会を行っています。

【お話より】◆ 誰とでも仲良くするのは難しい。でも、誰にもいじわるをしないのは難しいことはありませんよね。

◆ 夢はなくてもいいと思います。でも、好きな事、面白いと思うことは、あるといいですね。◆ コロナでできなかったワークショップは1件だけ。他は、工夫しながらオンラインでやりました。◆ 想像力は希望の源です。

【作品】「ペンギンの本」で講談社出版文化賞受賞。「K・スギヤマ博士の動物図鑑」「ほくのおべんとう」など多数。今年、デビュー30周年。小林は2回目だそうです。

20年以上前、県外の500名規模の中学校を視察した時のこと。「以前は荒れていた学校が立ち直ったきっかけは、読書と読み聞かせでした」と、校長先生から聞きました。朝の読書活動を続けるうちに、授業中に歩き回る生徒が少なくなり、学校は徐々に落ち着きを取り戻したそうです。

もちろん、先生方が子どもたちと真剣に向き合い、他にもさまざまな取組をしたのでしょう。でも、「読書の効果」のお話が、今でも心に残っています。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



須木小

指導は「すきむらんど」のインストラクターの皆さん

4~6年生のクラブ活動です。場所は「すきむらんど」の売店から少し下ったところ。SUP(スタンドアップパドルボード)とカヤック、水泳を交替で体験しました。ほとんどの子どもたちが初めてでしたが、すぐに、SUPで立ち漕ぎができるようになりました。

少しでも涼しさを感じていただければ幸いです。

紙屋小 ハートタイム



「たんぽぽ」の皆さん

いつもより長い、30分間の読み聞かせ。学年ごとに4、5冊の絵本を読んでいただきました。クイズや手あそび歌もあり、子どもたちは、様々な仕草や表情で絵本の世界を満喫していました。

サークルの皆さんは、野尻町内の学校や施設で読み聞かせをされています。終了後、「子どもたちの反応がよく、とても楽しかったです」と話していました。

栗須小

4年生 みどりの少年団結団式

農業振興課の方から、森の働きや宮崎県の林業について教えていただいた後、お話の感想と活動の目標を一人ずつ発表しました。



これから、花壇の手入れ、落ち葉はき、森林体験、募金活動などを行います。活動を通して、ふるさとの自然や草木、地域の人々に親しむことも目的の一つです。

この日は参観日。子どもたちの発表に、保護者も熱心に耳を傾けていました。(この後が「認知症講座」でした)

5・6年生 認知症サポーター養成講座



さっき食べたがね!

ごはんはまだけ?

のじり地域包括支援センターの皆さんによる劇とお話で認知症への理解を深めました。主な内容は…

- ◆ 劇「ごはんはまだですか」 ◆ 認知症とは?
- ◆ 認知症と物忘れの違い ◆ 年齢による体の変化
- ◆ 周囲の気づきと対応 など

「接し方」についてのクイズや質問の時間もあり、子どもたちは積極的に手を挙げて発表していました。

細野小

4年生 非行防止教室



講師：少年補導職員 (都城警察署)

お菓子屋さんで万引きをした、たろう君とじろう君について考えました。「とっちゃえば」と言われた時の気持ちや、警察に呼ばれた、たろう君と両親の気持ちについて考え、意見を出しながら、決まりを守ることと断る勇気の大切さを学びました。

学校と地域を結ぶコンサート



村上三絃道



ソーラン節

保護者と地域の皆さん

これからも多くのステージで活躍してください。

「音楽で子どもたちを笑顔にしたい」「音楽を通して学校と地域の絆をより深めてほしい」という願いを込め、

村上三絃道が開いているコンサートです。村上由宇月さん(三代目家元)と華映さん、由稀愛さんの力強い三味線の演奏と歌を、手拍子を打ち、体を動かしながら楽しみました。阿波踊りとソーラン節への飛入りや「三味線にチャレンジ」のコーナーもあり、参加した全員が笑顔に、そして元気になれたコンサートでした。



裏に続きます。

野尻小「棒踊り」の学習

5年生



鳴り物には
5年生2人も
加わります。



保存会の皆さん

棒踊りのビデオ(郷土芸能フェスティバル)を視聴した後、古川さん(保存会会長)から棒踊りの由来や受け継がれてきた歴史について聞きました。鳴り物(三味線・太鼓・拍子木)の説明もあり、子どもたちは驚いたり、感心したりしながら、地域の伝統芸能について学んでいました。この後、6年生とともに練習を重ね、運動会で披露します。

【東麓新地馬場棒踊り】400年以上前、朝鮮出兵から帰還した島津氏の戦功を祝い、領内の各地で踊られた踊りの一つが棒踊りであると伝えられています。

戦争での中断もありましたが、地域住民の熱意で復活。「地域に伝統芸能があり、それを踊った経験は、将来、きっと自慢になります」と、古川さんは話していました。

手話講座

紙屋中 3年生

【指導】野尻手話サークルの皆さん
【主な内容】◆ 動作や感情、挨拶などの手話 ◆ 数字や曜日 ◆ 指文字と自己紹介 ◆ 手話歌



指文字



野尻中 3年生



手話歌「糸」



かわいい!

感情の手話



自己紹介

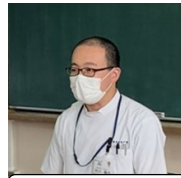
手話は人々の生活の中から生まれ、国や地域によって違います。でも、動作や感情を表わすジェスチャーには手話と同じものがあり、手話を知らなくてもコミュニケーションができることに生徒たちは気づきます。

「手話講座の目的は手話を覚えることではなく、聞こえない人との接し方を理解することです」。

(写真で「かわいい!」と言っている福本さんの言葉です)

小林中 薬物乱用防止教室

振り返り



市販の薬でも、説明をよく読んで、正しく使ってください

講師は桑原記念病院の川口さん(学校薬剤師)。視聴覚室での授業を、他の学級にも配信して行われました。薬物乱用の意味や心身に及ぼす影響について、映像も交えて教えていただき、薬物の怖さと同時に、絶対に乱用しない強い自覚の大切さを学びました。

【お礼の言葉】今回の学習を通して、薬物乱用を他人事のように考えないで生活していきたいと思いました。

東方小

6年生 二原遺跡の見学



縄文時代の土器です

地下式横穴墓を見学した後、市内の遺跡から出土した土器や矢じり、石斧などの説明を聞きました。

子どもたちは、教科書に載っている古墳や出土品と同じ時代のもが身近にあることを知り、故郷の歴史や文化に、より興味や関心を抱いた様子でした。

説明は前田さん・里岡さん(小林ガイドボランティア協会)、井上さん(社会教育課)

6年生 考古学の授業



県の埋蔵文化財センターの出前授業。「考古学とは？」というお話の後、清武町の発掘現場と教室をオンラインで結び、説明を聞きました。子どもたちは、画面に映った発掘の様子や地層を見ながら、「なぜ出土品の年代が分かるの?」という疑問の答を探していました。

後半は、センター所有の石器や土器の説明を聞き、写真も撮って、考古学の一端に触れることができました。

講師は佐土瀬さん・谷口さん(埋蔵文化財センター)

職員研修

夏休みに実施

二原遺跡



見学したのは池ノ上里程標、仲間の田の神、大丸太鼓橋、二原遺跡など、校区内の文化財7か所。先人の知恵や思い、歴史の流れを感じ取りながら見て回りました。

【案内の井上さん(社会教育課)より】

社会科だけではなく、他の教科でも教材として使えないかという視点で見ると面白いと思います。





School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け



ままし滝(須木)

星・花・ホテルの H と、水(H₂O)を組み合わせた“3H₂O”が、小林市を紹介する言葉として、よく使われます。初めて聞いた時は「？」と思いましたが、意味が分ると納得！

最近では、もう一つ H を加えて“4H₂O”もいいかなと思っています。それは、小林の Hito「人」。

これまで、取材を通して多くの

「魅力ある人たち」にお会いしました。地域と学校、子どもたちの様子に加え、指導者や協力者の魅力も、活動内容や言葉とともに伝えていければと思っています。

1学期後半も、よろしくお願いします。

三松中 農業体験学習

1年生



入村式

松元課長

福本会長

スポーツ振興課と北きりしま田舎物語推進協議会による事業。13軒の受入れ先(小林・えびの・高原)で、農作業などを1日体験し、学びと交流を深めました。

【入村式】 ◆ 精一杯取り組んで、多くのことを学びたいと思います。よろしくお願いします。(生徒代表) ◆ 小林・西諸の良さを再発見してください。(松元課長) ◆ 西諸の良さを最低5つは見つけて好きになってください。(福本会長)



1

ジャガイモの収穫



2

摘んだハーブでお茶を入れるね



3

農家民泊をしてうれしいのは…



4

椿の前で

- 畑の宿づのかんぼ(大角さん) 大角さんは「野菜ソムリエ」。収穫をしながら、野菜のお話をたくさん聞きました。
- たかはるヒト×コト交流センター(幸田さん) ハーブの足湯も体験し、リラックスする方法を教えてくださいました。
- ねむの花咲く宿(谷川さん) 「質問の時間」です。谷川さんの答は…「楽しかった」と言ってもらえることです。
- つばきの里(齋藤さん) 樹齢40年以上になる椿の木と霧島の山なみが望める大きな展望台がありました。

手話講座

西小林小 3年生



東方中 3年生



細かな内容は小・中学生で異なりますが、聞こえない人の生活や困っていること、伝え合う工夫について学習し、自分たちができることを考えました。その後、手話と指文字で自己紹介に挑戦。全員ができるようになりました。

発表をしている時の豊かな表情や仕草から一人ひとりの個性が伝わってきて、子どもたちは手話を通して自己表現の仕方も学んでいると感じました。

【講師】手話サークル「木の実会」。東方中は「木の実会」と徳永さん(西諸聴覚障害者協会会長)

校区内史跡めぐり

案内と説明はガイドボランティアの皆さん



①

②



西軍が負けたので…

西軍

関ヶ原の戦いで亡くなった ①佐土原藩士の墓と供養碑、②開拓の記念碑など、5つの史跡を1時間ほど歩いて見て回りました。その後、教室で詳しい説明を聞き、撮った写真を確認しながら地域の歴史を学びました。

【説明より】関ヶ原の合戦で西軍についた佐土原藩はとりつぶしになり、一部の藩士と家族が堤地区に移住しました。その後、農民になっても武士としての誇りを忘れなかった人々の生き方が、後の「三松魂」に受け継がれています。

裏に続きます。

永久津小 市内見学 ～小林市の紹介～



1

2

いつ頃建てられたのですか？



3

4

水族館に
来ています

6年生の社会科見学。小林市を紹介する動画の制作も兼ねて、出会った方々へインタビューをしながら、生駒高原から霧島岑神社、牧場、出の山淡水魚水族館を回りました。完成した動画は、学習発表会や他校とのオンライン交流会で披露する予定です。

- 1【雲龍巻柱(うんりゅうまきばしら)】霧島岑神社の本殿にあります。柱を抱くと願いが叶うそうですが、さわれないので「エアだっこ」を試してみました。(市指定有形文化財)
- 2【地域の方へインタビュー】たまたま出会った方が、神社の歴史に詳しくて、いろいろ教えていただきました。
- 3【牧場の桜並木】桜の季節を想像しながらしばらく歩き、夏の風景をタブレットに収めました。
- 4【出の山公園・淡水魚水族館】チョウザメの養魚場を通して水族館へ。いろいろな魚をバックに撮影しました。

紙屋中 陶芸教室

総合的な学習の時間
「ふるさとを知る」



1年生を対象に10年以上続いています。

1年生11人と先生が、地元の陶芸家園田さん(園田陶苑)に「弟子入り」。粘土のひもを重ねる「ひもづくり」の技法で湯飲みや花瓶を作りました。

この後、素焼きと絵付け、窯入れを経て完成。作品は文化祭で披露します。

【お礼の言葉】 保育園の時に続いて2回目だったので、一生懸命、そして楽しく取り組むことができました

西小林中 小学校での読み聞かせ

幸ヶ丘小



小中連携の取組。年に2回行われています。



幸ヶ丘小出身の2人が、後輩たちを絵本の世界に誘ってくれました。中学生が読む「くっくちゃん」と「すてきな三にんぐみ」のお話に、小学生は目を輝かせて聞き入り、心から楽しんでいました。この日、西小林小でも中学生が読み聞かせを行いました。

【児童の感想】 ◆ 読み方がうまかったです。 ◆ 大きい声でスラスラ読んでいました。 ◆ 分かりやすく読んでくれました。 ◆ 楽しくできてよかったです。

野尻小 ネパールとの交流学習

4年生



協力は野田さん榎屋さん
(国際交流支援の会)



大きな栗の木の下で～♪

小林でニジマスの養殖技術を学び、母国で養殖を広めたグルングさんとネパールさんなど、小林に縁のある方とネパールの2つの学校を結んで交流を深めました。校長先生と担任の先生が英語で挨拶した後、子どもたちも英語で野尻小を紹介。趣味や好きな食べ物なども、全員が英語で言えました。また、ネパールの文化や建築物など、グループで調べたことも発表しました。ネパールの学校からも歌と踊りのお返しがあり、互いに楽しく活動しながらの「オンライン国際交流」でした。

社会教育課

小林市子ども会育成連絡協議会
「水質・水せい生物調査」



協力は生活環境課と小林保健所の皆さん

「霧島小林探検隊」の小中学生3名が参加して、永久井野川(かくれ念仏洞付近)で実施。渡邊さん(会長)の水質と生き物の話の後、試薬を用いて色の変化を見る水質検査と水せい生物の調査を行いました。

後日、小野湖(須木)でカヤック体験もしました。探検隊は社会教育課で募集しています。



グローバルキッズ「ものづくり教室」



大人も含めて40人ほどが、左から… こて絵(左官)、銅板レリーフ(板金)、染色を体験。ものづくりマイスターの皆さんの指導で、思い出に残る作品ができました。



School Volunteer KSSVC だより

Kobayashi Support Center

小林市教育委員会社会教育課 KSSVC 事務局 (TEL22-7912)

学校向け

「協働の学校づくり」推進協議会(8月にオンラインで実施)の講師、西祐樹さん(文科省 CS マイスター:春日市財政課)のお話から紹介します。

春日市では、子どもの育ちを学校だけに任せておいてよいのか。地域・家庭との役割分担を明確にしなければ、との思いから、コミュニティ・スクールを導入しました。あれから15年が経ち、人が入れ替わる中で、当初の理念や約束事を、もう一度見直す必要があります。

新しいことを始めるのか、今まであるものを整理し、変えていくのかを考えなければなりません。

お話を聞いて、KSSVCにも当てはまると思いました。同じことのようにも「少し違う」、そんな取組ができればと思ったところです。西さんの言葉をもう一つ…

学校運営協議会で、学校運営の基本方針を承認するのは“OK”ではなく“Let's”です。

スマホやケータイ、情報モラルの講座



野尻中



担当の鈴木先生によるリモートでの授業。ネットのトラブルの現状を理解した後、SNSでのコミュニケーションの在り方をグループで考えました。たとえば、

次の5つを、嫌なものから嫌じゃないものに並べ替えてください。また、その理由も書いてください。

- ① すぐに連絡がない
- ② なかなか会話が終わらない
- ③ 知らないところで自分の話題が出ている
- ④ 話をしているときに、ケータイ・スマホを触っている
- ⑤ 自分が一緒に写っている写真を公開される

嫌か嫌でないかは、当然、個人差があります。相手との違いを知ることが、自分の行動を見つめなおすきっかけになることを、生徒たちは学んだことでしょう。

東方中



オンラインゲームの相談が20歳未満で増えています

宮原さん(消費生活センター)

ねらいは、「ネットのトラブルを知る」「ネットの特性を理解する」「対処法を知る」。

安易な投稿(写真の公開や誹謗中傷)、課金での高額請求、詐欺サイトや偽サイトなどについて学び、巻き込まれないための心構え・対処法について考えました。

同1
他人の悪い噂のとうとう内容に共感したので、情報のしんびよう性を確認せずに再とうとうし、拡散した。内容が事実と違ったとしても、自分が自ら書いたものではないので、罪に問われることはない。

法律の問題もありました

同2

好きなアイドルグループのファンクラブ会員限定に配信された動画を、ファンクラブに入っていないファン仲間にも見て欲しいので、コピーしてSNSにアップしたい。アップしていいか?



【まとめ】 ◆ 情報の発信は慎重に! ◆ 個人情報の扱いに注意しよう!(自分や友だちの情報も大切に) ◆ 料金が発生するときは家族に相談! ◆ 困ったときは早めに相談しよう!



細野中



溝俣さん:小林警察署生活安全課

- 【主な内容】 ◆ インターネットとは
- ◆ インターネットの特徴・危険性
 - ◆ 県内の相談内容の推移と事例(詐欺と悪徳商法が約6割)
 - ◆ インターネット上のトラブル
 - ◆ 県内の過去の事例
 - ◆ 「デジタルタトゥー」など

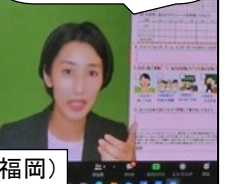
溝俣さんが関わった相談や事件など、具体的な事例をたくさん挙げながら、インターネットの危険性について丁寧に教えてくださいました。

「使い方を間違えると、名誉棄損や著作権法違反などの犯罪になり、悪質な場合、中学生でも逮捕されます」という話もあり、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

紙屋中



ネットに使う時間を「見える化」してみましょう。



石井さん: NTTドコモ(福岡)

テーマは「使い過ぎ」と SNS(① 個人情報 ② 誹謗中傷・肖像権)。再現ドラマや「ネットに使う時間で他のことをするとしたら?」という問いかけを通して、ネットの上手な活用の仕方を考えました。

終わりに、人権擁護委員の松江さん(紙屋)から、憲法と基本的人権のお話がありました。

- 《使い過ぎ》 ◆ すぐにスマホを触るのをやめる。
◆ ながらスマホをしない。 ◆ フィルタリングの活用
《個人情報》 ◆ 顔写真は個人情報 ◆ 信頼した相手でも大事な写真や動画を送らない。
◆ 周囲の大人や公的機関に相談する。
《誹謗中傷・肖像権》 ◆ 罪に問われる恐れがある。

子どもの頃(1960年から1970年頃)、電話があったのはごく一部の家庭だけ。我が家は「呼び出し」でした。近くの八百屋のご主人が、「電話だよ〜!」と、大声で知らせてくれていました。



裏に続きます。

幸ヶ丘小 木工教室 ～放課後子ども教室～



夏休みの登校日、家族も参加しました。木工教室は、放課後子ども教室コーディネーターの池田さんと西諸地区森林組合の協力で10年以上続いており、ポストや写真立てなど、毎年、違った作品を製作しています。

今回は、森と木の働きや林業についてのお話の後、腰かけを作りました。大人に手伝ってもらいながら1時間ほどで完成。出来栄えに、みんな大満足でした。

1年に1つつ作品が増えることを、子どもたちも家族も楽しみにしています。

スポーツ振興課と北きりしま田舎物語推進協議会による事業

細野中 農業体験学習



1年生

【合言葉】はじめまして！
の後は、もう、家族。

入村式では、「農業について知らないことが多いので、たくさん学びたいです」と、代表生徒があいさつ。

2日間お世話になる皆さんと顔合わせをした後、自己紹介をして手作りのメッセージカードを渡しました。



1 マンゴー農家の見学

2

畑の草取り

3

休憩中

4

朝ご飯



受け入れ先は、小林・えびの・高原の10軒。各家庭が、工夫を凝らした活動を準備してくださいました。

- 1 まりちゃん家（松田さん） マンゴーの収穫作業を見学。1本の木に30個。このハウスだけで約3千個が実っていました。小さな「日焼け(シミ)」で商品価値はゼロとのお話に、子どもたちは、作物を育てる難しさを感じたようです。
- 2 夢追い人のくらやみ道場（夏木さん） 夏野菜の収穫やさつまいも畑の草取り、ピザづくりなどを体験。手作りの釣り堀や涼しげな川床（河原に張り出した栈敷）もありました。
- 3 つばきの里（齋藤さん） 山羊と七面鳥を見に行っただけで一休み。お父さんは田んぼの見回りでした。
- 4 Sano Farm（宮村さん） きゅうりなど、自分たちで収穫した野菜がおいしかったそうです。「マッチの火おこしが上手でした」と宮村さん。



紙屋小「城攻め踊り」の講話とリハーサル



4年生



鉦(かね)

戦国時代の伊東氏と島津氏の争いを歌と踊りで表現した城攻め踊り。毎年、4～6年生が小中合同の運動会で披露しています。

初めて経験する4年生は、夏休み前から調べ学習を始め、今回、保存会会長の手塚さんから、衣装や道具、歴史、踊り方について詳しく教えていただきました。

この後、練習を重ね、運動会前にリハーサル



4～6年生



運動会の会場となる紙屋中で仕上げの練習をしました。保護者に着付けを手伝ってもらい、雨のため、体育館で演技。指導をしていただいた保存会の皆さんの前で出来栄えを披露しました。

きらびやかな衣装を身にまとい矢旗を背負った子どもたちの表情は凛々しく、踊りにも勇壮さが漂っていました。運動会でも立派な演技を見せてくれたことでしょう。

新たに決まった活動がありましたらお知らせください。 12号